玉森慶三 Kizou Tamamori

株式会社ライトスタッフ 代表取締役社長

URL：http://www.right-stuff.biz
Email：tamamori@right-stuff.biz
〒910-0019　福井市春山1-1-14福井新聞さくら通りビ3階
TEL: 0776-25-7201　FAX: 0776-25-7202

■主な経歴

1954(昭和29)年　福井県三国町生まれ
1977(昭和52)年　法政大学社会学部卒
1977(昭和52)年　福井商工会議所入所
　地域活性化イベント・祭り。観光振興業務、企業への労務経営指導等に従事
1993(平成4)年　(株)ライトスタッフ設立参画
1994(平成5)年　(株)ライトスタッフ入社
2006(平成18)年　代表取締役就任

■所属等

都市環境デザイン会議　代表幹事
まちなか活性化交流イベント開催事業審査員
ふくいユネスコ協会監事
一般社団法人三國會所理事
NPOこみちこまち推進会議監事
NPOメリンジョ普及協会監事

■活動のビジョン

　イベントを通じての地域づくりをテーマに活動を行っている。イベントの要素は、町の景観や文化・歴史・産業など地域資源の全てである。
　地域資源をいかに活用するかによってそのイベントの独自性が現れ、イベントの成功、継続、そして地域の誇りの醸成へとつながっていく。一方、地域の活性化には、地域に誇りを持った情熱的な人材の育成が不可欠で、イベントに参画し係りを持つことで地域の担い手も育成していくことが可能だと考える。
　イベントは、単にイベントの集客や対外的評価よりも、参画している人の盛り上がり（楽しさ）と収支の健全化が重要である。この２つの要素がイベント継続のキーワードであり、地域活性化イベントの成否であると捉えている。

■自身が考える都市デザイン、まちづくり等の課題と解決策等

　都市計画や街路計画において、祭り空間の設定や景観が置き去りにされている傾向があると思う。本来、住民自治やコミュニティがしっかり機能している地域は、伝統的な祭りが残っていることが多い。ハレの一日の為に日常の生活交通や安全が優先されているのは致し方ない側面もあるが、都市計画道路によって町の景観もコミュニティも破壊された事例は少なく無いように思う。イベントや祭りの会場としての町の「使われ方」「使い方」「お祭りが似合う景観」の議論を、計画の要素として積極的に議論すべきだと思う。

■自身が関わった活動・作品・現場の概要

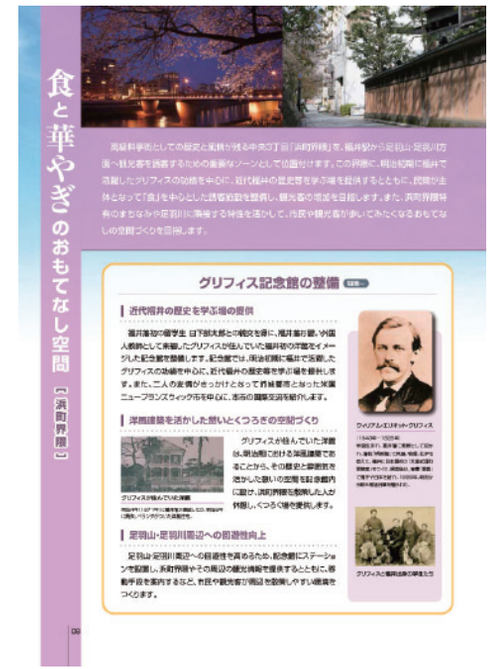
1　こみちこまち浜町事業
　平成22年度から､ふくい春まつり事業の一環として、福井市に残り少なくなった料亭街を「食」をキーワードにした観光客誘客を目的としたおもてなしゾーンの町づくりイベント

(A)イベントオープニング(福井・浜町芸妓組合)

(B)割烹の大将による料理教室

(C)料亭での越前焼女性陶芸家との食談会

■「こみちこまち浜町」イベントを契機にまちづくりの機運の高まりを受け、福井市が平成26年3月に策定した「足羽山・足羽川周辺空間形成基本構想」における浜町界隈の計画



■おすすめ景観

　三国港の風景(福井県坂井市三国町新保より)
　(北前船で栄えた港町の歴史的なロマンを感じる風景)

　九頭竜川は、白山を源に越前平野の全ての水系が一つになって日本海に流れでる河川である。古来より越前全域の米などの物産が、九頭竜川の河口の三国湊に集積して､北前船で蝦夷や大阪に運ばれていった。
　現在は、湊に浮かぶ船は、北前府ではなく、越前ガニ漁の漁船が並んでいるが、北前船で栄えた三國湊の歴史的な河口港の風景が感じられる。